

簡易ネットを使って クヌギ萌芽を シカ食害から守ろう!!

クヌギ萌芽を食害するシカ



遮光ネットによる防除



防鳥ネットによる防除

クヌギを伐採した後に株から伸びる萌芽は、シカの食害を受け続けると株そのものが枯死してしまうことから、将来の原木供給に影響を及ぼすことが懸念されています。

クヌギ萌芽は、成長が早く、短期間でシカの食害を受けにくい高さまで成長するため、林業研究部では、この特徴を生かした防除方法の研究を行ってきました。

クヌギ萌芽をシカの食害から守るため、簡易ネットを使い、低コストに防除する方法をとりまとめましたので、積極的にご活用いただければ幸いです。

大分県農林水産研究指導センター 林業研究部

平成26年2月

① 萌芽は成長が早い！春先の新芽を防除することが重要！！



枯死することもある

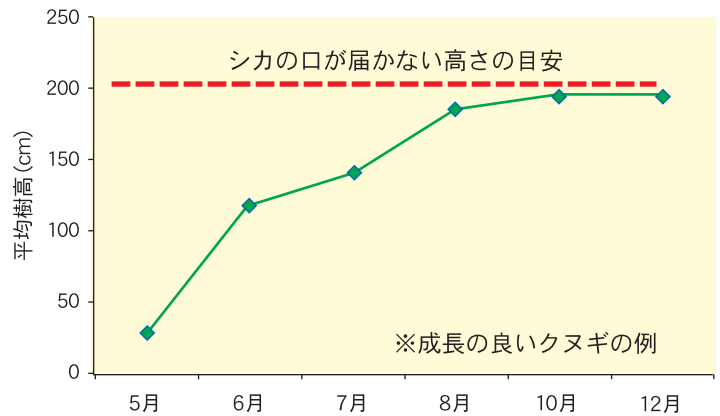


防除する期間は？

1～2年でシカの口が届かない高さまで成長
2m以上になるまで防除する！！

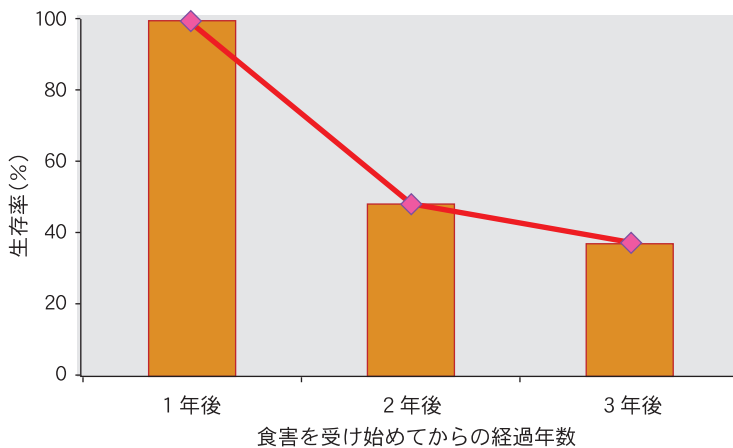
※現地の状況を見て判断する

クヌギ伐採後2年守ればOK!



② 1年目に食害を受けてもあきらめない！翌年の新芽を守れば大丈夫！！

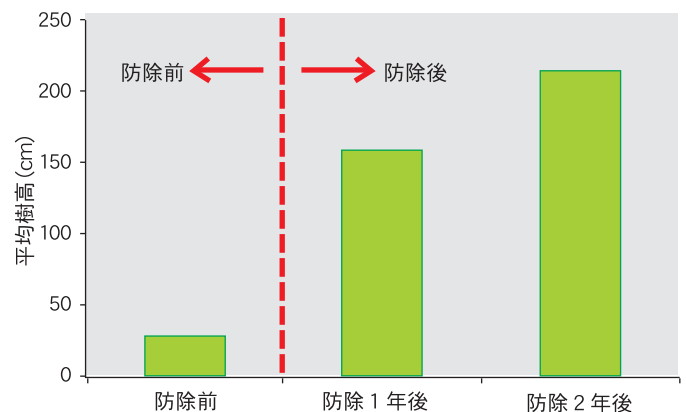
食害に対する株の耐久性は？



2年続けて食害を受けると株の生存率が低下
株数を維持していくには、

2年続けて食べられないようにする！

防除後の成長は？



食害を受けていても防除後の
萌芽は順調に成長した

株が生きていれば、防除後の
成長は期待できる!!

③ 簡易ネットの長所を生かして萌芽を守る!!

コストや施工性の面から簡易なネットを使った防除方法を検討したところ、

★遮光ネットは風の影響を受けにくい場所や立木がある場所が効果的

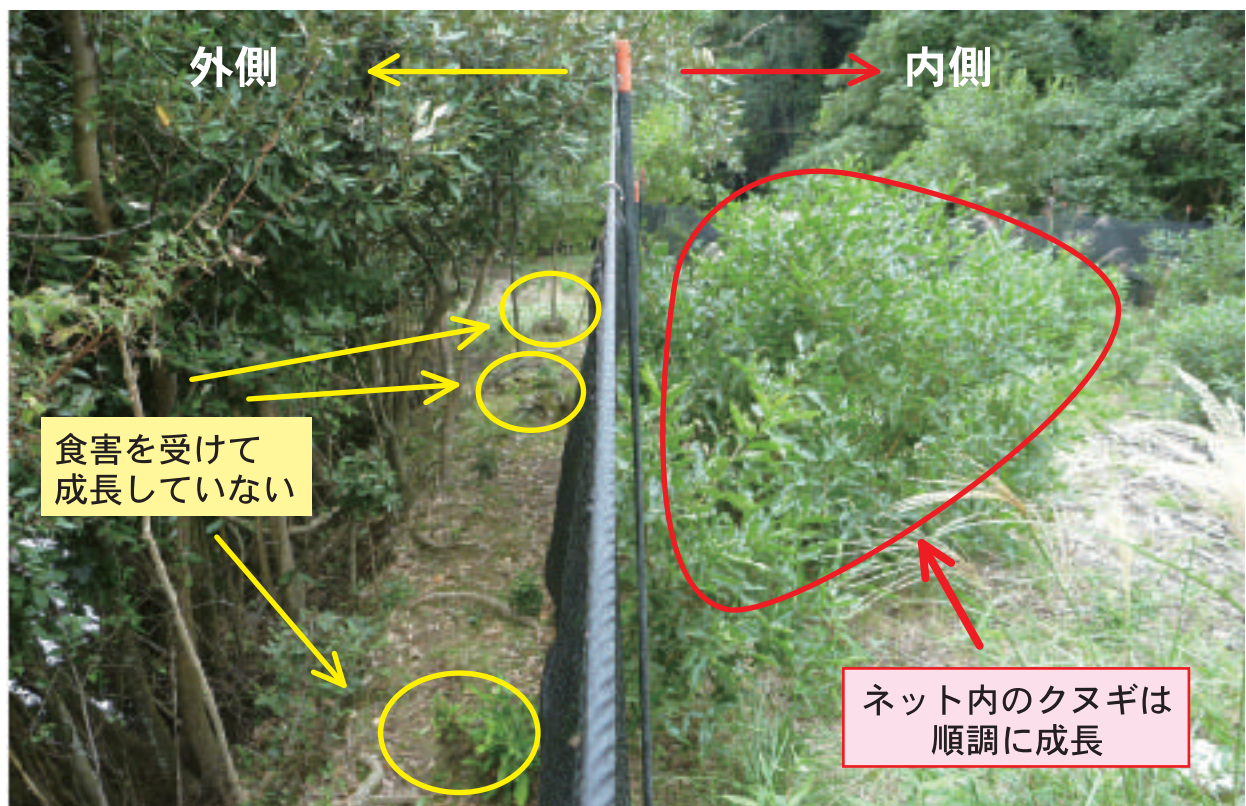
★防鳥ネットは定期的に補修ができる場所が低コストで効果的

ということが分かりました。

防除資材の特徴（一般的なシカネットを基準）

	防除効果	資材費	施工性	長所	短所
シカネット (基準値)	◎	750円/m	◎	—	—
単木防除	◎	650円/本	○	防除効果は高い	萌芽の倒伏が発生 手間がかかる
遮光ネット	◎	476円/m	◎	目隠し効果	風の影響を強く受ける
防鳥ネット	○	239円/m	◎	軽量で安価 細かい目合い	破れ安い
忌避剤	△	2,500円/㍓	◎	手間がかからない	効果の持続が困難 新芽に薬害の恐れがある
枝条利用	△	0円	△	資材費なし	設置に手間がかかる 風による倒壊

遮光ネットの効果試験（設置1年後の外と内の様子）



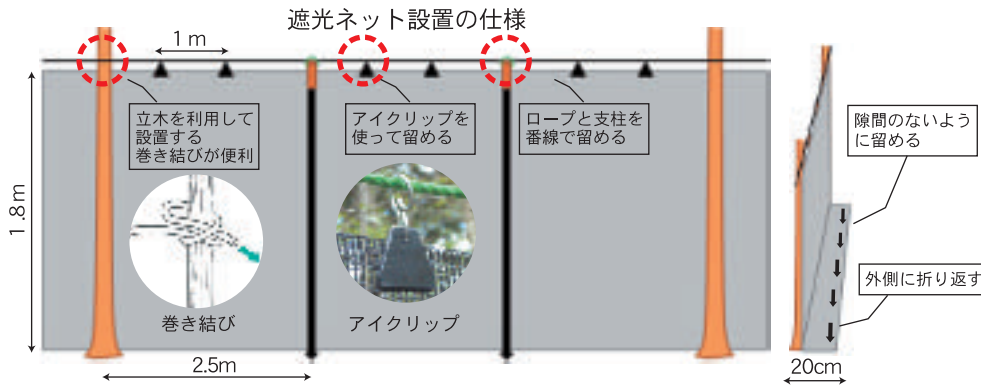
ネット内の萌芽は順調に成長しているのに対し、外の萌芽は食害で成長できていないことがわかります。

④ 適正な管理を行なってこそ効果的な防除ができる!!

- ・ ネットを張った時からが、防除のスタートです。
- ・ 定期的な見回りや補修を行えば、簡易ネットでも防除ができます。
- ・ 風で破損したり、シカによって破られた箇所を適宜に補修してください。

遮光ネットの設置方法

・遮光ネットは、萌芽を見えにくくすることや先が見通せないことによって警戒心を増大させるなどの効果があります。風の影響を大きく受けるため、立木を利用して設置すると効果的です。



材料

- ①遮光ネット
(2×50m・遮光率約40%)
※カラミ織りが丈夫
- ②支柱
- ③ロープ
- ④アンカー
- ⑤アイクリップ
- ⑥番線

設置手順

- ①使用する立木の上に2.5m間隔で支柱を打ち込む
- ②ネットを留めるロープをまわす
- ③ロープとネットを1m間隔でアイクリップを使用して留める
- ④外側に折り返したネットに1m間隔でアンカーを打ち込む
- ⑤番線で支柱とロープを留める

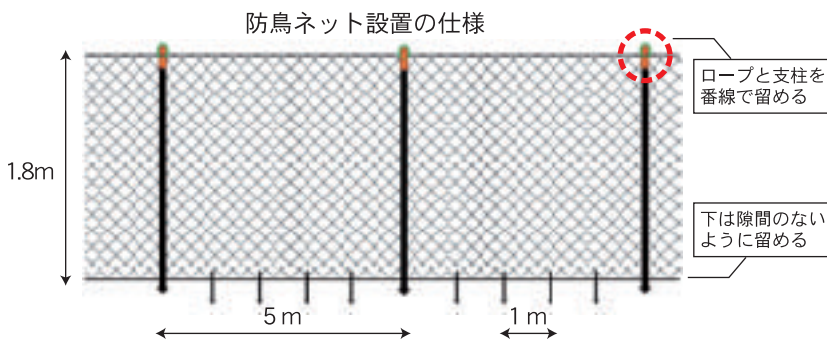
ポイント

- ①立木を利用して設置する
※伐採時に支柱となる立木を残す
- ②柔軟性のある支柱を使用する
- ③ネットの下20cmを外側に折り返す
- ④下はすき間のないようにする

防鳥ネットの設置方法

・防鳥ネットは、目合いが細かく低コストで設置できるため、定期的な見回りと補修が可能な場所では、防除効果が期待できます。

・破れやすいため、ネットをゆるく設置して伸縮性を持たせると、耐久性を補い、補修もしやすくなります。



材料

- ①防鳥ネット
(2×54m・3cm目合い)
- ②支柱
- ③ロープ
- ④アンカー
- ⑤番線

設置手順

- 基本的には他のネットの設置と同様です
- ①5m間隔で支柱を打ち込む
 - ②ネットの上下にロープを通す
 - ③支柱にロープを張りながらネットを展開させていく
 - ④下のロープに1m間隔でアンカーを打ち込む
 - ⑤番線で支柱とロープを留める

ポイント

- ①定期的な見回りと補修が可能な場所であること
- ②かなりゆるめに張る（支柱5m間隔にネットを7m程使用して設置）
※ネットに伸縮性を持たせるため
※補修がしやすくなる
- ③支柱の間隔は広めにする
- ④下は隙間のないようにする

大分県農林水産研究指導センター 林業研究部

〒877-1363 大分県日田市大字有田字佐寺原35 TEL 0973-23-2146 FAX 0973-23-6769
メールアドレス al5088@pref.oita.lg.jp